

# 紫 紺

〈題字〉故 花田 衛先生

2018年3月1日 第28号



発行  
熊本学園大学付属中学・  
高等学校 同窓会 紫紺会  
編集  
紫紺会広報・情報委員会

紫紺会事務局  
〒862-0971 熊本市中央区大江2-5-1  
熊本学園大学付属高等学校内  
TEL&FAX 096-371-9333  
(毎週火曜・木曜 13時~17時まで)  
<http://www.shikonkai.com/>  
[shikon@lime.plala.or.jp](mailto:shikon@lime.plala.or.jp)  
紫紺会公式facebookオープンしました！  
事務局員：上坂 尚子 (19期)

# 剛 英 知 気 品 知



## Contents

- 同窓会長・学校長あいさつ .....2
- 高校活動報告・紫紺会入会式 .....3
- 平成30年度紫紺会総会&新春大同窓会 .....4~5
- 紫紺会平成30年度役員・代表幹事一覧 .....6~7
- 紫紺会各支部・各委員会・スポーツOB会活動報告  
各期活動報告ほか .....8~10
- 飾馬奉納紫紺会活動報告・平成29年度奉納寄付一覧 .....11
- 写真で振り返る紫紺会の一年 .....12~13
- 卒業生紹介 .....14~15
- 平成30年度収支予算・事業計画・会費納入のお願い .....16

## 「心の拠り所になる、誇り高い紫紺会」を目指して

熊本学園大学付属中学・高校同窓会 紫紺会 会長 榎 主税（14期）

皆様におかれましては、日頃より紫紺会の活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。母校の卒業生は1期生の皆様から57期生の皆様まで、今年3月で約2万人となり、国内外の多方面で活躍されております。

さて、早いもので私が会長に就任して1年が経ちます。「明るく、楽しく、未来につながる紫紺会」をスローガンに活動してまいりました。役員会と代表幹事を隔月ごとに毎月開催し、多数の皆様方に色々な行事に参加いただき、誠にありがとうございます。支部活動でも、東京、関西、福岡の県外支部や県内の地域、職域、部活動OB会等の集まりでも年々、参加者が増えております、特に他校の同窓会と比べて若い期の参加者が年々増えており、大変心強く思っています。

しかし一方で、全会員の5%前後に推移しております。年会費納入率や各期の行事への参加状況に非常にバラつきがあり、連絡体制等、さまざまな課題もございます。今期はこの課題を少しずつ解消し、幅広い世代に参加いただく同窓会を目指して努力してまいります。この会報誌の巻末に行事日程を記載しているほか、紫紺会のホームページも随時更新しておりますので、一読いただきまして、多数のご参加をお待ちしております。来年は高校創立60周年の記念式典を迎えますが、今後も高校側との連携を強化し、同窓会活動における根幹の一つであります「母校の支援」にもさらに力を



入れていく所存です。

最後になりますが、これは私見ですが、私達が生きていく上で人間関係には縦と横の関係があると思います。縦の関係は礼儀であり、秩序であり、けじめ等です。横の関係は優しさ、親しみやすさ、愛嬌とかでしょうか。最近の社会全体の風潮として、横の関係が重視され、縦の関係は敬遠される傾向にあると思います。これは決して否定するものではありませんが、同窓会活動におきましては、やはり礼儀、挨拶、けじめ等、ある一定の部分の縦の関係を保たなければ、その同窓会はメリハリのない仲良しの会になっていくのではないかと思っています。後輩は先輩を尊敬し、先輩は後輩を愛でる。この最低限の縦の関係を今後も維持していくべきものと考えています。今後とも「心の拠り所になる、誇り高い紫紺会」を目指して、組織の活性化に努めてまいりますので、皆様のご協力の程、何卒よろしくお願い致します。

## 県下私学の有力校として、時代の変化に対応を

熊本学園大学付属中学・高校 校長 木下 隆雄

紫紺会の皆様、平素より本校の教育活動・運営に対し、暖かいご理解と格別のご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

一昨年の4月14日および16日、熊本を襲った大地震は深刻な被害をもたらしましたが、紫紺会の皆様のご支援もありまして、本校は予想以上に早く復旧工事を済ませることができました。重ねてお礼申し上げます。

さて本校は昭和34年に開校し、今年創立60年の節目を迎えます。この間、「生徒の誓」（英知・気品・剛気）を本校教育の使命として位置づけ、生徒の教育にあたってまいりました。生徒たちも学業に部活動に熱心に取り組み、素晴らしい成果をあげていることは皆様よくご承知のことと思います。

その結果、今や本校は県下における私学の有力校として、地域の皆さんから高い評価をいただいております。平成30年度入学生願の数も中学、高校ともに増加しており、その評価がより高まっていることを示しています。

ところですでにご存知かとは思いますが、数年後には次期学習指導要領の改訂や現在のセンター入試に代わって、大学入學共通テストの導入が予定されています。求められているのは、知識の量を問う教育から知識の質を問う教育への転換です。また、社会の変化による多様な価値観を持つた生徒や保護者に対しても丁寧な対応が



求められています。

本校も加速度的に変化していく状況に適切に対応すべく、今準備をしているところです。ご理解のうえ、一層のご支援をお願いいたします。

最後に私ことではなはだ恐縮ですが、このたび任期満了にともない、本年3月末をもって校長職を退くことになりました。2期6年間の短い期間ではございましたが、紫紺会の皆様にはひとかたならぬご厚情をいただきました。歴代の会長の皆様をはじめ、多くの役員の方々とお付き合いをさせていただきましたが、その間私のまことに厚かましいお願いなども心よく聞いていただきました。まことにありがとうございます。

今後とも紫紺会の皆様方が、ますますご活躍されますことを心より祈念申し上げます。

# 高校活動報告

前年度は、始まってすぐに未曾有の地震に襲われました。この地震で最も被害が大きかったのが体育館です。天井の一部が落下し、ほぼ1年間使用できませんでした。2月にはその復旧工事が完了し、リニューアルされた体育館で56期生の卒業式を挙行することができ、感慨もひとしおでした。

平成23年4月に開校した付属中学校の1期生は、6力年の中高一貫教育を終え、熊本大学医学部合格をはじめ素晴らしい進学実績を残して本校を巣立っていきましました。そして4月には7期生68名を迎えました。少しずつですが、中学校の入学者は増加傾向にあります。

今年度の在籍者数（平成29年4月10日現在）と学級数は、付属中学校が184名・6学級、付属高校が1240名・34学級です。付属高校は昭和48年から男女共学となりましたが、現在の男女比はほぼ1:1となっています。また、熊本市以外の中学からの在籍者は27%です。

平成29年入試では、国公立大学に139名（うち現役生は118名）、私立大学に延べ486名が合格しました。主な合格大学は、国公立大学では熊本大41名、熊本県立大22名、鹿児島大13名、九州大

7名、九州工業大7名、福岡教育大5名、大分大5名、広島大3名、大阪大1名、東京工業大学1名、東京外国語大学1名、筑波大1名など、また、私立大学では熊本学園大61名、福岡大42名、西南学院大37名、熊本保健科学大34名、崇城大15名、立命館大23名、日本大17名、中央大12名、同志社大8名、明治大7名、青山学院大4名、法政大3名、早稲田大2名、慶應義塾大1名、国際基督教大1名などでした。

6月に開催された県高校総体では、ボート男子舵手付きクオドルプル、ボート女子舵手付きクオドルプル、ボート女子ダブルスカル、ボート男子シングルスカル、ボート女子シングルスカル、テニス女子団体、体操男子個人総合、体操男子種目別が優勝しました。

さて、今教育は大きく変わろうとしています。未来を生きる子どもたちに「どのような力を身につけるのか」「何ができるようになるのか」まで踏み込んで求める教育に変わります。本校の使命は、開校以来「全人教育による人物の養成」であり、これは時代が変わ

っても不易でなければなりません。この使命のもと、本校でもこうした時代の変化に対応すべく教育目標や育成すべき資質・能力を定め、組織改革、授業改善、業務改善等に取り組んでいこうとしています。そして、保護者や地域社会に支持される学校を目指して努力していかなければならないと考えています。今後とも、紫紺会会員の皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

（文責 末次）



▲2015年3月に完成した高校の4階建て新校舎

## 紫紺会入会式

紫紺会では毎年3月、高校体育館で卒業生を対象とした紫紺会入会式を開いており、同窓会長はじめ会の役員が出席し、自己紹介や各委員会の活動報告をした後、同窓会長が各期卒業生の代表幹事に委嘱状を贈呈。また、広報・情報委員会からその年に発行する紫紺会報を卒業生全員に配布しています。



# 新春大同窓会に全国から同窓生ら410人集う

## 榎会長「縦の関係を保ちつつ、

## 会のさらなる発展へ」

1月27日、熊本市のホテル日航熊本で2018年度の通常総会と新春大同窓会が開かれました。

総会では新年度の事業計画と収支予算案を審議し承認。その後、午後6時からは関東、関西、福岡など全国各地からの同窓生や来賓を含め410人が出席し大同窓会に移り、はじめに榎会長が「役員や代表幹事の尽力で、この1年も多彩な事業ができた。近年は県外在住者や40期以降の若い期の参加が増えているほか、地域・職域支部、部活動OB会も活発に活動しており、大変うれしい。今年で同窓生数は2万人を超え、高校も創立60周年の節目を迎える。全同窓生の5%前後で推移している会費納入率など課題は多いが、今後もある一定の縦の関係を保ちつつ、会のさらなる発展につなげたい」とあいさつ。その後は幸田亮一熊本学園

大学長による音頭で乾杯に移り、最後まで同窓生同士や恩師とにぎ



同窓生ら410人が出席した新春同窓会



榎主税会長



豪華賞品が提供された毎年恒例の抽選会。藤本博之事業活動委員長（右）と大同窓会の司会を務めた中村由紀子同委員会副委員長



4月15日に開催する青年部主催のゴルフコンペを告知する榎崇文青年部委員長



優秀な成績を残したポート部・吹奏楽部・合唱部に奨励賞を授与する榎会長（左）



目黒純一熊本学園理事長



幸田亮一熊本学園大学長



木下隆雄校長



会場を魅了した高校吹奏楽部による演奏

ステージでは東京、関西、福岡支部の同窓生が各支部の活動状況を報告した。  
写真は東京支部の本田光二さん（18期、左）と小林喜代美さん（23期）



40期以降の若手同窓生も多数出席した

旧交を温める1期生のメンバー



やかに歓談しながら交流を深めました。  
また終了後は、各所で2次会場に移動し同窓会を開催する期もあり、当日は夜遅くまで歓談の時間が続きました。

「若草句 託麻野の…」。  
最後に出席者全員で校歌斉唱し、締めくくった



高校の先生方も多数出席。  
久しぶりに再会した懐かしい卒業生たちと酒を酌み交わしながら歓談した



今年、飾馬奉納紫紺会担当期の41期生。前列中央は今年隊長を務める嶋村拓二郎さん



大同窓会前には通常総会も開き、今年度の事業計画および収支予算案を審議し承認した

# 平成30年度 紫紺会役員



副会長  
吉川 久美(24期)



副会長  
吉村 浩之(19期)



副会長  
木村 光男(16期)



副会長  
長野 英子(15期)



副会長  
平木 邦昭(14期)



会長  
榎 主税(14期)



事務局次長  
榎橋 一玄(34期)



事務局次長  
奥村 誠基(33期)



事務局次長  
村田 護親(32期)



事務局次長  
田尻祐充子(21期)



事務局次長  
堤 泰之(32期)



副会長  
桑原幸津江(25期)



副代表幹事長  
本田 順治(10期)



副代表幹事長  
林 俊晴(8期)



代表幹事長  
工藤 健悟(14期)



監事  
齊藤 誠治(20期)



監事  
佐藤 秀敏(11期)



事務局員  
上坂 尚子(19期)



副代表幹事長  
岡本 彩那(53期)



副代表幹事長  
眞弓 知也(48期)



副代表幹事長  
田上 明裕(29期)



副代表幹事長  
志水 和幸(18期)



副代表幹事長  
宮本 亘(14期)



副代表幹事長  
佐伯 昇治(13期)



広報・情報副委員長  
宮崎 常(39期)



広報・情報副委員長  
佐藤マリア(37期)



広報・情報副委員長  
岩本 州司(35期)



広報・情報委員長  
大島 栄祐(40期)



財務副委員長  
赤塚 智哉(34期)



財務副委員長  
平木 邦昭(14期)



財務委員長  
加藤 誠貴(37期)



事業活動副委員長  
遠山 正光(29期)



事業活動副委員長  
出口 浩二(29期)



事業活動副委員長  
桃井 隆光(29期)



事業活動副委員長  
古閑 正一(24期)



事業活動委員長  
藤本 博之(29期)



広報・情報副委員長  
津田 美矩(46期)



広報・情報副委員長  
齊藤 弘美(40期)



青年部副委員長  
長野 光洋(30期)



青年部委員長  
榎 崇文(40期)



経済同友会委員長  
田中 博康(19期)



事業活動副委員長  
吉田 徹秀(40期)



事業活動副委員長  
下田 陽子(36期)



事業活動副委員長  
中村由紀子(34期)



事業活動副委員長  
日田 美保(29期)



女性部委員長  
西 千都世(21期)



青年部副委員長  
塚本 龍一(47期)



青年部副委員長  
富田 修成(46期)



青年部副委員長  
道山 明香(42期)



青年部副委員長  
嶋村拓二郎(41期)



青年部副委員長  
永廣 一晃(39期)



青年部副委員長  
内田 雄也(37期)



会費納入UPプロジェクト  
副委員長  
日隈 忍(14期)



会費納入UPプロジェクト  
副委員長  
岩田 幸治(14期)



会費納入UPプロジェクト  
委員長  
平木 邦昭(14期)



飾馬奉納委員長  
出先 教明(31期)



女性部副委員長  
牛嶋佳世子(38期)



女性部副委員長  
岡山 藍(38期)



女性部副委員長  
戸高公美子(33期)

本年もどうぞ  
よろしくお願ひします!



60周年準備プロジェクト  
副委員長  
金澤 一弘(15期)



60周年準備プロジェクト  
副委員長  
長野 英子(15期)



60周年準備プロジェクト  
委員長  
木村 光男(16期)

## 紫紺会 代表幹事一覽

期	卒業年	名 前
1	S37	立 川 惠之助
2	S38	今 村 宏
3	S39	東 健 治
4	S40	坂 元 邦 彦
5	S41	工 藤 博
6	S42	白 野 国 久
7	S43	前 田 英 治
8	S44	林 俊 晴
9	S45	石 本 敏 明
10	S46	本 田 順 治
11	S47	伊瀬知 裕
12	S48	臼 杵 和 孝
13	S49	佐 伯 昇 治
14	S50	宮 本 亘
15	S51	村 上 康 彦
16	S52	村 田 敬治郎
17	S53	浅 井 雅 己
18	S54	志 水 和 幸
19	S55	伊津野 浩

期	卒業年	名 前
20	S56	崎 坂 浩 行
21	S57	中 山 貴 夫
22	S58	寺 本 光 秀
23	S59	西 健 一
24	S60	白 石 隆
25	S61	西 上 佳 孝
26	S62	松 岡 衣 美
27	S63	鈴 木 浩 二
28	H1	水 田 貴 光
29	H2	田 上 明 裕
30	H3	廣 末 好 信
31	H4	出 先 教 明
32	H5	西 本 光 一 郎
33	H6	池 本 千 寿
34	H7	植 田 真 功
35	H8	林 信 介
36	H9	高 松 大 輔
37	H10	内 田 雄 也
38	H11	山 口 敦 司

期	卒業年	名 前
39	H12	永 廣 一 晃
40	H13	中 川 大 輔
41	H14	渡 辺 陽 一
42	H15	豊 田 隆 志
43	H16	矢 田 琢 磨
44	H17	吉 住 勇 作
45	H18	松 下 翔
46	H19	大 倉 志 織
47	H20	工 藤 龍 之 介
48	H21	眞 弓 知 也
49	H22	白 角 勇 介
50	H23	伊 豫 昂 弥
51	H24	中 野 翔 梧
52	H25	上 坂 暖 子
53	H26	澤 田 拓 巳
54	H27	長 濱 美 優
55	H28	宮 崎 真 吾
56	H29	井 田 彩 心

# 紫紺会支部・委員会活動報告

## 紫紺経済同友会

紫紺経済同友会 事務局  
堤 泰之(32期)

「紫紺経済同友会は熊本学園大学(商科大学)付属高校OBの経済人による相互の交流を基に積極的に経済活動を行うことを目的とした団体です。他校の経済同友会との交流や年祝いの会、隠れた善行を行っている生徒に対する奨励賞の実施等、活発な活動を続けております。昨年は紫紺会青年部と共同で「紫紺若手の会」と銘打ち若手経営者を集めての拡大例会を行いました。現在卒業生の皆様のおかげで会員数も100名を常時

超えるようになっております。活動に興味がある方は是非、会長の19期吉村浩之あるいは事務局までご連絡いただければ幸いです。



在校生の善行を称え開催している奨励賞授与式

## 東京紫紺会

東京紫紺会事務局広報  
白石 恵子(22期)

今年から名称を変更した「東京紫紺会」の総会・新年会は、例年



毎年熊本からも多数の関係者が参加する東京紫紺会新年会(写真は2018年2月2日に開いた新年会)

以上に紫紺会を濃くしての開催でした。最近の母校の様子を在熊40期山下史さんに制作して頂き上映したところ、綺麗な新校舎に声上がるなど大好評でした。また昨年引き続き、8期坂本哲志代議士に熊本地震経過報告もして頂きました。更に手土産を16期木村光男さんの「木村のあられ」にお願いし、帰宅後も紫紺会パワーを楽しんで頂きました。様々な世代での同窓生の活躍を実感できた会となったのではと思っております。  
本年度も会報発行や多様な懇親会を予定しておりますのでHPやSNSをご注目下さい。

### 平成30年度東京紫紺会 幹事会メンバー

卒期	氏名	役職
8期	堺 亜流	会長
12期	宮本 恭一	幹事長
18期	吉若 誠二	副幹事長
18期	本田 光二	事務局長兼会計
22期	白石 恵子	事務局・広報(新任)
23期	小林喜代美	女性部部长(新任)
31期	佐藤 研吾	事務局
40期	寺尾 舞	事務局(新任)
7期	松井 清	監査役

## 関西支部

木村 裕(8期)

関西支部では、昨年7月に、10数年ぶりの懇親会を開催させていただきました。熊本からも榎主税紫紺会長、木下隆雄校長、猿渡攻先生、松本悦子先生をはじめ、多くのご参加を頂き、何とか盛会裏に終えることが出来ました。誠にありがたく、この場をお借りして、感謝の意を表します。

また、以前にも増して同窓会を盛り上げようとの声が多かったことは、今後の活動に拍車がかかる

のではと感じ、今後とも皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 連絡先

06-6832-5917  
shikonkai.kansai@gmail.com  
kimura-de-go@nifty.com



榎会長はじめ熊本からも多数の参加者で盛り上がった昨年7月の関西支部懇親会

## 福岡支部

福岡支部支部長  
松永 尚宏(29期)

紫紺会会員の皆様、私は29期の松永尚宏と申します、本年もよろしくお願いたします。

2016年に前執行部の方々より福岡で活動を行って貰えないかとの突然のお話があり、何から始めれば解らないままスタートしました福岡支部ですが、在福の会員を集めまして春の花見会を2回、年度末の忘年会を2回行うことが出来ました。まだまだ周知不足でメンバーは少ないのですが、継続してイベントを行って行きたいと思っております。会員の中で〇〇さんが福岡に転動になったとか、ご子息が福岡に進学と言うお話がございましたら是非是非、福岡に

支部がある事をご周知いたたくと同時に一緒にイベントへの参加をお待ちしております。告知は紫紺会HPまたはFBで行っておりますので、ご覧になっていただければ幸いです。本年度も皆様のご協力を頂きながら支部活動を拡げたいと思いますので、何卒よろしくお願いたします。



毎年の恒例行事となっている花見会

## 阿蘇南部紫紺会

紫紺会の皆さん、こんにちは。

熊本地震発生からもうすぐ2年が経とうとしています。私たちが暮らす南阿蘇も徐々にではありませんが、復興の道を進んでいます。

今年度の活動は、昨年11月12日に毎年恒例の年祝い・懇親会を高森の山見茶屋で行いました。今年度は馬原孝一会長（6期）から山室昭憲会長（8期）へ会長が引き継がれ、新体制へととなりました。紫紺会本会からも、榎会長・木村副会長にも参加して頂き、ありがとうございました。先輩・後輩沢山の方に参加して頂き、夜遅くまで話は尽きませんでした。

## 飲食紫紺会

飲食紫紺会会長 早川 誠（4期）

私ども飲食紫紺会は飲食店関係の同窓生と紫紺会の役員の方々の多大なる協力のもと創立された団体です。立ち上げて2年、まだ発展途上の組織ではありますが、定期的に集まる機会を作り交流を深めたいと考えています。

熊本地震発生後、やがて2年を迎えようとしています。紫紺会のバックアップのもと震災復興激励会、飲食店マップの発行、はしご酒大会ではマップに載っているお店を巡るイベントを行いました。震災後の復興が進んでいる所、そうでない所がありますが、私達の活

まだまだ、復興半ばではありませんが、南阿蘇から沢山の元気を届けたいと思います。

阿蘇南部紫紺会事務局



発足から長い歴史を誇り、年祝い会など活発に活動している阿蘇南部紫紺会

動が少しでも皆様の明るさを取り戻すきっかけになりますよう、幅広い世代に参加していただき、紫紺会の発展に少しでも貢献できたらと願っています。これからの活動につなげていきたいと思っております。



2016年5月に創刊した「紫紺飲食店マップ」

## 宅建紫紺会

宅建紫紺会会長 前田 年哉（29期）

宅建紫紺会会長の前田年哉でございます。

この度、宅建紫紺会は創立30周

## 事業活動委員会

事業活動委員会 委員長 藤本 博之（29期）

平成30年1月27日、榎会長になってから初めての新春大同窓会を無事終えることが出来ました。役員をはじめ代表幹事の方々のご協力があつたからこそだと大変感謝致しております。

今年度の事業もスタートし、4月のお花見、6月の年祝いの会、11月の母校を訪ねて（仮）と数多くの事業を予定しております。皆さま



新春大同窓会をはじめ会の年間活動を運営している事業活動委員会

年を迎えることとなりました。皆様方のご支援、ご厚情による賜物と深く感謝いたしております。

熊本県にて不動産業、または不動産関連業を営む私達宅建紫紺会会員としましては、熊本県の復興をお手伝いする使命がまだまだ続きます。会員一同、皆様のご期待に

んに楽しんで参加していただけるように準備を進めていきますので、卒業生の皆さんの参加を心よりお待ちしております。なお、開催日程や会場等は、紫紺会ホームページやフェイスブックなどで随時情報を発信していきますので、確認をお願いします。

最後に紫紺会の事業としては非やつてもらいたいと思うアイディアがあれば、遠慮なく事務局に電話やファックスでの連絡をお待ちしております。

## 女性部委員会

女性部委員長 西 千都世（21期）

女性部委員会は、「紫紺の輪」が広がることを目標に、1月27日の大同窓会でマスキングテープやキーホルダー、タオルなどの「紫紺会オリジナルグッズ」の販売を行いました。飾馬の担当期である41期生をはじめ、たくさんの方の先輩の協力を得て完売することができました。同窓会終了後もグッズを購入したいのとたくさんのお声をいただき、次の課題にし

添えますよう、より一層尽力して参ります。今後も更なるご支援の程、心よりお願い申し上げます。



1月27日の新春大同窓会で販売した紫紺会グッズをPRする西千都世女性部委員長

たいと思います。共通のものを持つことが「紫紺の輪」を広げることにつながれば幸いです。

今年度の女性部は、「紫紺の輪」を広げること・活動のテーマにしていきたいと考えております。活動内容はホームページ等でお知らせいたします。紫紺会活動に参加したいけど、どこからスタートしたらいいかわからない...という方も、気軽にお声掛けください。たくさんの方の参加をお待ちしております。

## 青年部委員会

青年部委員長

榎 崇文(40期)

青年部では、平成26年より年2回ゴルフコンペを開催しており、平成29年度は第7回を4月1日にくまもと城南CCで、第8回を11月12日に阿蘇グリーンヒルCCでそれぞれ開催しました。いずれの回も30名近い同窓生が集まり、大いに盛り上がりました。第7回は武田康男先輩(13期)、第8回は河津剛先輩(29期)が優勝されました(河津先輩は2回目)。また、毎回同窓生から多数の豪華賞品をご提供頂いており、この場をお借

りして御礼申し上げます。そして、このゴルフコンペは、平成27年度より、チャリティゴルフコンペと位置づけ、参加費等で知的障害児(者)施設「大江学園」「第二大江学園」にお菓子のクリスマスプレゼントを贈呈しており、昨年も12月23日に贈呈しました。大江学園からは、御礼の寄せ書きも頂いております。

また、8月18日には紫紺経済同友会と共催で、30期代以降の若手同窓生が交流する若手交流会を「ファンキーぶれいやあず」(オーナー本田倫寛先輩・34期)にて開催し、50名を超える若手同窓生が親交を深めました。

青年部は、今年度も若手同窓生

## 学付バドミントン部OB会

学付バドミントン部OB会 会長 宮村 勇一郎(23期)

毎年1月2日に行う新年初打ち会、昨年は地震被害により学園大体育館を借用して行いましたが、今年は修復を終えた母校体育館で行うことができ、参加者数も昨年を上回る数となり盛況に開催しました。同日夜に開催した懇親会では、久し振りに会うOB同士で語り合い楽しい時間を過ごしました。



昨年8月12日に開いた  
夏季懇親会

(土)に開催を予定していますので是非ご参加ください。  
また、「本郷杯クラブ対抗バドミントン大会(県バド協主催)」の後援(運営の手伝いや景品の授与など)も行いました。昨年は12月3日和水体育館で開催され県内から多くのチームが参加し白熱した試合が繰り広げられました。  
そして祝報!バドミントン部OB 歳島廣久先輩(6期)が再び4年に1度開かれる世界大会「ワールドマスターズゲーム2017 ニュージーランド大会」で金メダル獲得という実に誇らしい成果をあげられました。

さらに、今年度は現役生からも『第46回全国高校選抜愛媛大会個人シングルス出場』という報告が届きました。平成31年には全国高



年に2回開いている青年部主催のゴルフコンペ。  
写真は昨年4月1日に開いた第7回大会

## 野球部OB会

野球部OB会 事務局長

池本 哲二(31期)

熊本市内の新人戦大会で準優勝を果たした57期生でしたが、その後には上位進出ができず、最後の夏の選手権予選も2回戦で延長戦の末敗退。結果としては、大変悔しい年となりました。

グラウンドが離れていたり、学

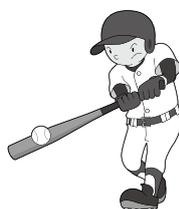


昨年12月に購入したピッチングマシン

校総体が南部九州で開催予定で、熊本県はバドミントン開催県となります。この吉報を機に、シングルスだけではなくダブルスも団体も『出場!』となるようOB会として一層支援して参りたいと考えております。卒業生の皆様におかれましては、何卒ご支援ご協力頂けますようお願い申し上げます。本年度の報告とさせていただきます。

業との両立を目指したり、強豪校に打ち勝つには困難な環境ではありますが、部員の高い志と、首脳陣の熱い指導で、甲子園まであと1歩のところまで来ていることは実感します。

そのような中、昨年12月にOB会と保護者会の折半で、待望の『スライダー』が投げられるピッチングマシンを購入しました。これで守りの学付が、打ち勝つ試合も増えると思えます。来期もまた、甲子園初出場を期待し、野球部へのご声援をよろしく願います。



## 一期同窓会



昨年11月11日に熊本市西区二本木のホテル本陣で開催した1期生同窓会。紫紺会の榎主税会長と西千都世女性部委員長含め22人が参加した

# 藤崎八幡宮秋季例大祭

## 節目を駆け、紫紺会の伝統を次世代へ

紫紺会第40代隊長 江本 龍洋



飾馬奉納紫紺会が結成40周年の節目を迎えた2017年に担当期の隊長を務めさせていただいた江本龍洋と申します。昨年も例大祭の円滑な運営にご支援とご協力を賜り、紫紺会関係者の方々には心より感謝しています。

私は5年前の30歳の時、飾馬紫紺会の楽団に加わりました。また、その年の年末には30歳の同窓会と題し40期の同窓会を開催し、150人が集まる記念イベントになり、私にとっては担当期に向けた起点的年だったと思います。そして、副担当期で例大祭に参加した一昨年は熊本地震の影響で、例大祭の開催すら危ぶまれました。

したが、無事奉納が終わわり、いよいよ担当期への挑戦がスタート。その年の年末には4年ぶりに40期の同窓会を開き、担当期の成功へ決意を一つしました。

昨年の例大祭テーマは「紫紺の結集！節目を駆け、繋げ未来へ！！」に決まり、定期的な実行委員会や担当期の会議や懇親会、寄付集め、馬番抽選、参加者受付、御旅所清掃、慰問、高校OB連合会前夜祭、飾卸と順調にスケジュールは経過し、迎えた本祭当日の9月17日。しかし、台風で本祭は延期・・・。「節目の年だけあつて試されるなあー」。正直、そんな心境でした。17日の夜は、40期で飲み会を開き、気持ちを入れ直して本番へ備えました。

そして迎えた仕切り直しの10月9日、その日は早朝4時に高校集合。一日のスケジュールはあつという間に進行し、いよいよ祭りのクライマックスである夕階兵を迎え、三年坂通り、国道3号線から宮入りするひときは、40期で心を一つにし、大いに楽しんで盛り上った夢のような時間でした。藤崎八幡宮の参道を参加者全員で歩き、無事に奉納を終えた瞬間、すべてが終わったという何ともいえない達成感で胸がいっぱいに。そして、この思いを40期みんなと共有できたことが、何より最高の思い出でした。紫紺会の伝統を今年担当期の41期、さらには後輩へ引き継ぐことができ、紫紺会関係の方々には心より感謝しています。本当にありがとうございました。

40期のみならず、この1年、40期みんなの熱意と協力、応援のおかげで、例大祭は私の人生における最高の思い出になりました。しかし、40期の絆は祭りが一つのスタートラインだと思います。祭りでの出会いをご縁に、これからもみんなとの未永いお付き合いができれば幸いです。本当にこの1年間、ありがとうございます。感謝、感謝です！！



### ◆平成29年度奉納寄付一覧◆ (敬称略 順不同)

下通繁栄会、ア・スタジオ、燈、オッジ・ミラノ 松野 龍也、熊本内科病院、(旬) ベイクド・ポテト、鳥亭、(旬) ビーカンパニー プラチナ、15期 島村 昌宏、熊本駅構内タクシー 7期 稲葉 伸一郎、熊本トヨペット(株) 6期 齊藤 直信、東亜シルク(株) 4期 長野 和男、(旬) 吉田整形外科製薬所、(株) 宮食 ホテルオークス、(株) 熊本ホテルキャッスル、上妻 幸 13期 上妻 利夫、(株) カネムラエコワークス、(株) 前田産業 6期 木村 洋一郎、紙弘 深浦社長、オーシャンズ7、ラトゥール、旭タクシー(株) 25期 赤池 憲信、後藤、明和グループ 11期 川口会長、明和グループ 川口社長、第一ビルサービス 31期 林田 公治、40期 松本、(旬) プレイン おはこ 平野 正樹、コグマ、リンク、ツーセカンド、山室 昭憲、(旬) 8期 坂本 哲志、(旬) つむぎ屋 8期 前園 潮、(株) ファーマダイワ 8期 岡山、(株) 鳥井、木谷塗装、西山塗装 西山 公英、大日本塗料(株)、九州エネルギー協同管理、ヒガキ塗装、AGC コーテック、高橋塗装、今村塗装、(株) 日丸産業、九研工業(株) 佐藤 秀敏、杉島土地家屋調査士事務所、永田ツアーデスク、アロマニー、(旬) 相生プランニング 豊原 新吾、RACコーポレーション 山代 真貴、クラブ、(株) newBAUデザイン、11期 緒方 公博、山本屋、(旬) パワーズ 酒とめし RIKI、15期 家入 浩一、15期 富田 伸、ホテルニューオータニ熊本 17期 家入 孝夫、17期 岩尾 隆一、久富 康仙、前田 浩一、高見、前田、江上 泰弘、松江、岡村、内田、シャングリースコーナ、オフセット、(株) T's プロダクツ 17期 田野辺 隆史、17期 前崎 元克、菊陽自動車学校 17期 野上 武、焼鳥呑みてい 25期 木村 圭治、企画屋 16期 上村 元三、魚幸 18期 都甲 憲治、熊本大同青果(株) 18期 月田 潔孝、(株) 夢工場 16期 徳永 雅三、18期 奥名 克美、TERAKA 寺岡 明美、瑞穂恒産、大和自動車、キャサリンズ's BAR 19期 藤本 清美、山本たばこ店、紫紺経済同友会、15期 長野 英子、19期 上坂 尚子、10期 原 亨、(株) コクキュー 酒造 恵之助、田邊 由美子、LayLa 福田 もと子、トラットリア フェデリコ ノアヴォ、不動産モータース、(株) 馬場石油、(株) 活誠、ウェルディングガス(株) 熊本営業所、アレスト 江頭 由佳、シャリマー、寿司、懐石火の国、こめ&葡萄 22期 ハツ波 美和子、ピンクウォーター 猿渡 由紀、ピンクウォーター 猿渡 幸子、ピンクウォーター 石崎、双葉タクシー 3期 石崎 公士、松屋本館 25期 西上 佳孝、(株) 木村 16期 木村 光男、(株) 村田自動車 3期 村田 誠一、22期 緒方 孝則、(旬) アルム、九機工業(株) 6期 梨子 木 和秀、ドライマティニー、ひかりタクシーグループ 22期 寺本 光秀、ミスJJ 岡村 彰子、(株) グッドスタッフ 日野 源男、住山、炭火焼 三笠 16期 田崎 伸也、(株) こざき 13期 古崎 正敏、27期 鈴木 浩二、熊本建物(株)、(株) 坂本食糧、熊本旅行(株)、(株) 大宏設計事務所 福島 正継、九州中央リハビリテーション学院、(株) 魚屋 志垣 昌一郎、ラヴィアンローズ、上林工業(株) 4期 上林 節郎、(株) 愛宅 29期 前田 年哉、(株) ニコニコ不動産 34期 山田 高文、(旬) みた商事 22期 中林 文重、b-max、30期 平田、司法書士 嶋田事務所、(株) 杏仁会 青明病院、江南病院、介護老人保健施設 フォレスト熊本、6期 中島 和夫、瑞鷹(株) 30期 吉村 謙太郎、クリーニングのフレンド 27期 内田 貴夫、熊本全日空ホテルニュースカイ紫紺会 24期 古閑、熊本全日空ホテルニュースカイ紫紺会、スナックいぶき、NPO法人 くまもと福祉フットタウン 29期 岡田 聡二郎、(株) タウン開発 30期 前田 尚毅、社会福祉法人 博心会 30期 渡邊 太郎、ボーラ化粧品熊本中営業所 2期 西村 隆一郎、ムロキ電器 30期 村上 隆史、(株) エス・エス・齋藤、(旬) がコーポレーション 菅 聖、ワタナベ歯科医院 32期 渡邊 悟朗、社会福祉法人 環友会、テイク5、(株) マリーゴールド 31期 齊藤 潤一、資産総合鑑定株式会社 2期 西川 毅彦、QUATTRO 有馬 拓郎、31期 池本 哲二、31期 安武 光輝、ニュー天花 井上、(株) 南栄開発 17期 斉藤 忠、黒木鑑定事務所、Jian 綾部 健司、(株) ハイコム 甲斐 達也 (au熊本下通店)、ナナイロ、(株) セネラリスト おしよしよ、ヴァニラ、入江タクシー 10期 入江 栄俊、銀釜釜めし 5期 藤田 等、スナックことのは、メンバーズ ウィンズ、ありさ、ダイキンHVACソリューション九州(株)、三菱電機工業、エース産業、プレリウド、ビビッド、メンバーズ英 (はな)、スナック水沢、(株) ライトアップ、温石、トリッパ、円の家 24期 西岡、BAR PIECE、九州キャリブレーション(株)、(株) クリエイトィブ・シコン、酒漬、Bar Blue、オーシャンズセロ、天野屋書店、原田写真場、(旬) 堤酒店、ラ・ベレッツァ 19期 上野 真裕、(株) アルファシステムサービス、ちやおず、35期 佐原 謙 熊本めくみの園、バラ園、(株) 木村建設、(株) 重建、36期 佐藤 健次、BORDER、杉野 (フレンド)、津川 信行、アベ美装、東海岸(株)、ネオスタイル 増田、毛利司法書士、原田建設 原田、大窪土地家屋調査士、アトム、イスマ、ヤマク、ひのくに弁護士、やま福、三久、早川商会、ワンスフィールド、三五、SPORTS BAR ゴング、(株) コスキ不動産 小杉 康之、Feliz hair and clothing、乙女の隠れ家、ボガラ 大橋、LOVE GLOSS、浅草屋、間染工場、慈愛園 子供ホーム、慈愛園 老人ホーム、介護老人施設 湧心苑、熊本学園大付属高校、熊本学園大付属高校同窓会 紫紺会、丁子屋

名称の誤りの場合はご了承ください

(文責：飾馬奉納委員会)



紫紺会の主催で恒例行事となっている「年祝いの会」。今年は古希を迎える6期生と還暦を迎える15期生を祝い、多くの同窓生が集まった（ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ）



発足2年目を迎える職域支部・飲食紫紺会主催による「紫紺 はしご酒大会」。幅広い年代の卒業生が参加し、2016年5月に創刊した「紫紺 飲食店マップ」に掲載されている同窓生経営の店を回った（熊本市中心市街地）



紫紺会関西支部との交流会。熊本からも歴代同窓会長らが参加し、関西在住の同窓生と近況を報告した。今後は京都、奈良と場所を変えて開催してほしいとの要望もあった（レストランテ翔21＝大阪市北区）



紫紺会青年部委員会と紫紺経済同友会のコラボで開催した若手交流会。同委員会では毎年、45歳以下の同窓生を対象に若手交流会を開いていたが、経済同友会における若手会員の掘り起こしを狙い、初めて合同で企画。当日は約60人が参加した（ファンキーぱれいやあず）



「紫紺 飲食店マップ」の創刊に合わせてスタートし、定期的に開いている「飲食店巡り」。マップ掲載店を巡りながら、店を運営するオーナーと交流を深めている。2017年9月に記念すべき20回目を迎えた（キッチン たけの木）



「ドーカイ、ドーカイ」という威勢のよい勢子たちの掛け声と、ラッパや太鼓などを鳴らしながら行進する「藤崎八幡宮秋季例大祭」。今年は台風の影響で9月17日の本祭が10月9日に延期となったものの、「飾馬奉納紫紺会」結成40周年の節目として大いに盛り上がり、無事奉納を終えた



青年部委員会が主催となり、年に2回開いているゴルフコンペ。第8回となった今回は29期の河津剛さんが2度目となる優勝を勝ち取った（阿蘇グリーンヒルCC）



2017年2回目の開催となった「紫紺 はしご酒大会」。各自、忘年会の店選びも兼ねて参加し、夜遅くまで続く、にぎやかなイベントとなった（熊本市中心市街地）

# 写真で振り返る紫紺会の一年 (平成29年1月～12月)



1月3日

54期成人同窓会、通称“20歳の同窓会”には毎年70%以上の高い出席率で卒業生が集まり、大いに盛り上がりを見せる（熊本ホテルキャッスル）



1月28日

全国各地から同窓生が集う毎年恒例の新春大同窓会。昨年も430人が顔をそろえ、第13代榎主税会長の就任決意表明もあった（ホテル日航熊本）



3月1日

会報27号発行。本会や各委員会、支部、スポーツOB会ほか、熊本地震からの震災復興に尽力した同窓生を紹介するページを設けるなど、2016年度の広報活動の集大成として誌面の充実を図った



3月2日

紫紺会入会式。56期卒業生全員に会報誌を配布したほか、紫紺会の概要や年間の活動内容などを報告した（高校体育館）



3月31日

紫紺会有志の協力で開催した“悦ちゃん”こと松本悦子先生の退職を祝う会。42年間体育教師として指導を続けてこられた松本先生の労をねぎらい、歓談した（ホテル日航熊本）



4月1日

こちらも紫紺会の恒例行事となっている花見の会。榎同窓会長をはじめ多数の同窓生が集まり、夜桜を見ながら酒を酌み交わした（松屋本館）



5月20日

悦子先生に続き、紫紺会有志で開催した奥田哲朗先生の退職を祝う会。数学教師として付属高校で長年、教鞭をとられた奥田先生を囲み、にぎやかに歓談した（ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ）



5月29日

紫紺会の経済人らで組織する紫紺経済同友会の主催で毎年開いている「年祝いの会」。本年は古希、還暦を迎える同窓生4人を祝った（松屋本館）

# 紫紺ズームアップ

～各界で活躍する同窓生たち!!～

## 「こども食堂」の展開で 児童の成長サポート



一般財団法人すみれ学級  
理事長 藤井 富生 (5期)  
(旧姓・酒井)

共働き世代や貧困家庭の支援などを目的に全国的に開設が相次いでいる「こども食堂」。大分市内で調剤薬局11店舗を展開する(株)そうりん(大分市中戸次)の藤井富生社長は2016年8月1日、社会貢献活動の一環でこども食堂「すみれ学級」を大分市内に開設し、現在週3回の夕食および一部地域では朝食を2回、地域の児童たちに無料で提供している。運営費は同社売り上げの一部を充てているという。

「東京新聞の記者から、現在日本は6人に一人が貧困家庭で、長期休暇が終わった時に小中学校児童の顔色が青白くなっており、再び給食が始まり、しばらく経つと顔色が普通に戻るとい話を聞きました。大分県内ではそんなことは無いだろうと調査してみると、都会も大分も実態は同じで、最初は驚きましたね」。藤井社長はこう語り、欠食児童の解消に貢献したいと、空きスペースになっていた大分市敷戸西町の自社薬局

跡を改装し、こども食堂の開設を決めた。運営にあたっては「欠食児童は家庭教育が十分でない部分もあると考え、学校の宿題もサポートしよう」ということで、週3回の夕食提供と宿題のお手伝いを始めることにしました。現在、大分大学の学生を5人、時給1千円で雇用し、子どもたちに勉強を教えており、昨年1年間で2972食を提供し、利用児童者は延べ3千人を超えた。「学校の全生徒2



空きスペースになっていた大分市内の自社薬局跡を改装し開設したこども食堂「すみれ学級」

96人に対し58人の児童が利用しており、利用率は19.6%。地域にそれだけ貧困層が多いことを知り、びっくりしましたね。全国的にみると、こども食堂における食事の提供は月や週に1回程度だが、週3回食事を提供している食堂は「すみれ学級」だけで、食事には冷凍ものは一切使わず、すべて手作りにこだわっているそうだ。

地域からは、新たな食堂開設の要望があるというが、資金面など運営の課題も多い。そこで同社では一般財団法人すみれ学級を設立し、現在は一般からの寄付で運営費の一部を賄っているという。「こういう社会貢献活動を一企業だけでやっていくには限界があり、今後は行政に協力を呼びかけ、例えば食材費などのバックアップをお願いしたい。そして、次世代を担う子どもたちの成長に役立つ当社の活動が、大分だけでなく、熊本でも時代のニーズに応じた形で徐々に広がっていく一つのきっかけになれば嬉しいですね」。

## 地元や応援してくださる方に 届く環境で作り続けたい



東京芸術大学美術学部講師／映像家  
中村 壮志 (48期)

もともと映画好きだったことから映画監督になりたいという典型的な理由で、大学時代に学生映画を撮り始めたという中村さん。「厳密にいうと、影響を受けた文化である映画史の中に自分も入ったかっただけという感じでしょうか。当時の私みたいな若い子が、こういう生き方や作品があるんだ、俺もやってみよう!というきっかけになるような人を目指したいと

思ったのが最初でしたね」と映像家を志した。それから、映像だけでなく美術にも興味を持ち、美術としての映像作品や空間で物語を作ってみたいとの思いから大学院時代はドイツに留学、欧州のさまざまな美術館を回り、美術の素晴らしさを体感してきたという。留学した翌年には自身の幼少期の特別な記憶を題材にした作品で初となる個展も開催した。「その頃か



大学の仲間たちと展示を行った際のトークショーの様子

ら監督業だけでなく、美術作家として作品を作ろうと思いい、映像家という肩書きを自分で付けました。

現在、卒業校である東京芸術大学美術学部講師として活躍する中村さんは「美術作家として作品を展示で発表することもあれば、お仕事としてファッションや音楽、企業の映像を作ったりもします。最近では映像に限らず絵から立体、空間までやることもありませう」と仕事内容を説明する。映像家としての夢や目標については「まずは映画監督として認知されることですね。今年はいよいよ長編の企画があるので、何とか多くの人に見てもらえるようなものを作りたい。夢はニューヨーク近代美術館(MOMA)で作品もしくは映画が所蔵、または展示されたいです。やるなら最高峰を目標に！」

と高い志を掲げている。また昨年は、プロバスケットボールチーム「熊本ヴォルターズ」の映像制作も手掛けており、「地元や応援してくださる方に届く環境で、何かできるとうれしいですね。今後は地元熊本でもたくさん活動したいですし、地元の名前が届くように作り続けたい」と笑顔で語っている。

最後に母校での思い出について

「高校時代は今までの人生で一番楽しかったです。学校では大体ふざけていました(笑)。卒業してからもう10年近く経ちますが、未だに連絡を取り合う友達も多く、熊本に帰るたびに集まります。大学時代は一人でいることが好きだったのですが、高校生の頃は長期の休みでみんなに会えないのが寂しかったですね」と、懐かしさを胸に当時を振り返ってくれた。

## ルーマニアの交響楽団と共演、音楽通じた国際交流に



ピアニスト 江藤 麗香 (40期)

母親がピアノの先生だったこと

がきっかけで、2歳でピアノを始めた江藤麗香さん。小中高とピアノを続け、その後は九州唯一の音楽単科大学・平成音楽大学(御船町)に1期生として特待生で入学し、学生時代は数多くのコンサートに出演、コンクールの受賞歴もある。江藤さんは「きつい時も毎日ピアノに向いています。ピアノは生活の一部になっています」と笑顔で語る。大学卒業後もピアノへの情熱は変わらず、熊本県新人演奏会出演をはじめ、精力的にコンサ

ート出演を行ってきた。

就職した出田眼科病院(熊本市中央区)では医療事務の傍ら、同院のピアニストとして毎日、1階ロビーで演奏を行っている。「患者さんから元気をもらったと言ってくただける時は、ピアノを続けてきて良かったと心から思います」。また、同院にはコーラスグループ「ナイチンゲールズ」もあり、江藤さんは部長として年に2回開催する院内コンサートの企画などを含めグループのメンバーを統括しているほか、接遇委員長も務めて

おり、昨年は事業所の接遇における独自の工夫や取り組みを表彰する「第3回日総研接遇大賞」を同院が九州で唯一受賞し、3月には東京都で開かれる受賞者9法人による事例発表会で、院内の接遇向上に向けた取り組みを発表するという。

一方、2007年には同年代の男性2人とヴァイオリン・コントラバス・ピアノという従来に少ない編成での音楽グループ「Triorsso」を結成した。クラシックからポップスまで幅広い音楽ジャンルを演奏し、九州を中心に数々のツアーを展開。オリジナルCDも発売し、東日本大震災直後にはイギリス・ロンドンで、被災地支援を兼ねたチャリティコンサートを開くなど、精力的に活動を続けた。現在は各自で活動しているが、「今年は3人で集まり、コンサートを企画したいです」と意欲的だ。

昨年9月には、自身が師事するピアニストで平成音大教授、熊本ルーマニア協会理事も務める川口みさき氏とルーマニアに招かれ、現地の国立交響楽団と共演、夢の舞台でグリーグのピアノ協奏曲を披露した。「ピアノと正面から向き合い、自分なりに満足いく演奏ができました。現地の演奏家の方々と音楽を通じた文化、国際交流にもなっただけです」。同国での演奏は初めてでプレッシャーを抱えつつも、共演者からのサポートで



ルーマニアの国立交響楽団と共演し、グリーグのピアノ協奏曲を披露する江藤麗香さん

「これまで演奏を続けてくることができたのも、支えてくれた家族をはじめ、お世話になった皆さんのおかげ。感謝の気持ちを持ってこれからも音楽を続けていくことで恩返ししたいです」と話す江藤さん。将来は「教育者としてピアノや音楽の素晴らしさを伝えていきたい。そして音楽を愛する人が世の中に広がっていけば嬉しいですね」と、ピアニストとして一つの夢を描いている。



平成30年度収支予算 平成30年1月1日～平成30年12月31日

科 目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	(A)-(B)
I 事業活動収支の部			
1 事業活動収入			
①基本財産運用収入			
受取利息	1,000	1,000	0
②受取入金			
入金収入	3,700,000	3,700,000	0
③受取会費			
年会費収入	3,000,000	3,000,000	0
④事業収益			
懇親会費(大同窓会)	2,800,000	2,800,000	0
現役部活激励会(事業活動委員会)	1,000,000	1,000,000	0
事業収入(事業活動)	1,000,000	1,000,000	0
飲食店マップ広告収入	0	0	0
広告収入	200,000	200,000	0
⑤補助金等収入			
受取寄付金	0	0	0
補助金等	0	0	0
事業活動収入計	11,701,000	11,701,000	0
2 事業活動支出			
①事業費			
広報・情報委員会	2,400,000	2,400,000	0
事業活動委員会	1,600,000	1,600,000	0
女性部委員会	250,000	250,000	0
青年部委員会	250,000	250,000	0
財務委員会	165,000	165,000	0
飾り馬奉納支援金	100,000	100,000	0
紫紺経済同友会	100,000	100,000	0
クラブ奨励金	300,000	300,000	0
卒業記念品費	600,000	600,000	0
特別活動事業費			
会費納入アップ委員会	300,000	300,000	0
所在不明者解決プロジェクト	200,000	200,000	0
60周年準備プロジェクト	100,000	100,000	0
②会議費			
総会費	1,800,000	1,800,000	0
代表幹事会費	300,000	300,000	0
③管理費			
事務局費	700,000	700,000	0
事務局要員費	600,000	600,000	0
学年同窓会開催支援金	100,000	100,000	0
会員名簿委託管理料	20,000	20,000	0
新聞広告印刷費	100,000	100,000	0
旅費交通費	150,000	150,000	0
慶弔費	100,000	100,000	0
雑費	130,000	130,000	0
事業活動支出計	10,065,000	10,065,000	0
事業活動収支差額	1,636,000	1,636,000	0
II 投資活動収支の部			
1 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2 投資活動支出			
特定資産(指定正味財産)の取得			
奨学金事業引当資産繰入(定期預金)	600,000	600,000	0
記念事業引当資産繰入(定期預金)	500,000	500,000	0
新校舎建設寄付事業引当資産繰入	0	0	0
投資活動支出計	1,100,000	1,100,000	0
投資活動収支差額	▲1,100,000	▲1,100,000	0
III 財務活動収支の部			
1 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2 財務活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III 予備費支出			
予備費	100,000	100,000	0
当期収支差額	436,000	436,000	0
前期繰越収支差額	6,135,712	7,436,414	▲1,300,702
次期繰越収支差額	6,571,712	7,872,414	▲1,300,702

紫紺会 平成30年度事業計画(平成30年1月～12月)

月	日	曜	行 事	場 所	時 間	備 考	担 当
11	木		代表幹事会	パレオ会議室	19:00～20:00	新春大同窓会・30年度について	代表幹事会
1	23	火	決算・会計監査				財務委員会
27	土		通常総会・新春大同窓会	ホテル日航熊本	17:00～20:00	※29年度活動報告、決算報告、30年度計画、予算承認大同窓会・年鑑のご挨拶、奨励賞授与	事業活動委員会
2	水		関東紫紺会総会・交流会				事業活動委員会
8	木		役員会	高校会議室	19:00～20:00		事務局
			第1回会長選考委員会	高校会議室	19:00～20:00		事務局
22	木		学園大付属中学・高校奨励賞授与式	ANAクラウンプラザホテル熊本エコーシティ	18:30～20:30	29年度の賜られた善行を行った生徒の表彰	経済同友会委員会
2	金		紫紺会入校式		15:20～15:50	会報「紫紺」第28号発行	事務局・広報委員会
3	8	木	代表幹事会	パレオ会議室	19:00～20:00		代表幹事会
			お花見の会		19:00～21:00	桜お花を見ながらの宴会	事業活動委員会
			福岡紫紺会花見			大濠公園での花見	事業活動委員会
			第2回会長選考委員会	高校会議室	19:00～20:00		事務局
4	12	木	役員会	高校会議室	19:00～20:00		事務局
15	日		第9回ゴルフコンペ	未定	8:00～16:00	親睦ゴルフコンペ	青年部
			経済同友会役員会	未定		定例役員会	経済同友会委員会
10	木		代表幹事会	パレオ会議室	19:00～20:00		代表幹事会
			現役部活生激励会	未定	未定		事業活動委員会
			経済同友会総会・年祝いの会	未定	19:00～21:00		経済同友会委員会
			五校合同経済同友会スポーツ例会	未定			経済同友会委員会
			紫紺会年祝いの会		19:00～21:00	7期 古希 16期 還暦	事業活動委員会
6			第3回会長選考委員会	高校会議室	19:00～20:00		事務局
7	木		役員会	高校会議室	19:00～20:00		事務局
12	木		代表幹事会	パレオ会議室	19:00～20:00		代表幹事会
			紫紺会関西支部との交流会	未定	18:00～20:00	紫紺会関西支部との交流を図る	事業活動委員会
9	木		役員会	高校会議室	19:00～20:00		事務局
			青年部若手交流会	未定	未定	若手会員の交流会	青年部
			経済同友会定例会	未定	19:00～21:00		経済同友会委員会
			飾り馬 馬番抽選	藤崎宮			飾り馬奉納委員会
			日 飾り馬 慰問				飾り馬奉納委員会
13	木		代表幹事会	パレオ会議室	19:00～20:00		代表幹事会
			金 飾り卸				飾り馬奉納委員会
			日 藤崎宮秋季例大祭				飾り馬奉納委員会
			各支部OB会懇談会・懇親会	未定	19:00～20:00		事務局
11	木		役員会	高校会議室	19:00～20:00		事務局
10			五校合同経済同友会例会	未定			経済同友会委員会
			第10回ゴルフコンペ	未定	8:00～16:00	親睦ゴルフコンペ	青年部
			母校に関する事業	未定			事業活動委員会
8	木		100%代表幹事会・懇親会	パレオ会議室	19:00～20:00	100%代表幹事会及び懇親会	代表幹事会
			経済同友会役員会・忘年会	未定			経済同友会委員会
			福岡支部忘年会				事務局
6	木		役員忘年会	未定	19:00～21:00		代表幹事会・事務局
			クリスマスプレゼント贈呈式	大江学園		入所者に対してお菓子のプレゼント	青年部

※他に女性部イベント・OB講演会・「はしご酒大会」年2回

会費納入のお願い

昨年も同窓会活動は活発に展開されました。これも同窓生の皆様によるご協力のたまものと感謝申し上げます。活動には、最低限の資金を必要とし、皆様の会費によって支えられている事をご留意いただき、どうか早めの会費納入をお願いいたします。

- 会 費 3,000円
- 納 期 早目の納入をお願いします。
- 納入方法 同封の郵便振込用紙にてご送金いただくか、下記口座に直接お振込下さい。

【お振込先】

※郵便払込用紙を同封しております。銀行振込の口座番号は下記の通りです。なお、銀行口座引き落としをご利用の方は新たに振込みの必要はありません。

- ・肥後銀行 県庁支店 普通口座 口座番号 1303908  
熊本学園大学付属高校紫紺会
- ・熊本銀行 水前寺支店 普通口座 口座番号 0259310  
熊本学園大学付属高校紫紺会
- ・熊本第一信用金庫 本店営業部 普通口座 口座番号 946549  
熊本学園大学付属中学高等学校同窓会紫紺会

編集後記

同窓会報「紫紺」は今回で第28号の発行となりました。まずもって、会報誌発行にご協力をいただいた同窓会や高校関係者の方々によるご協力に心より、感謝申し上げます。  
本号では、この1年における本会の活動報告ほか、各界で活躍されている県内外の同窓生紹介コーナーを強化するなど、誌面の充実を図りました。ぜひ、ご一読いただければ幸いです。これまで以上に熱い40周年記念奉納の隊長報告もお見逃しなく!!  
紫紺会では役員会や代表幹事会をはじめ、地域・職域支部や部活動OB会など活発な事業が展開されています。現在6人で組織する広報・情報委員会では会報だけでなく、近年はホームページやフェイスブックを通じ、会の活動をリアルタイムに発信しており、これらの広報活動が、同窓会に参加されたことのない方々が参加する一つの契機になればと思います。今後も会における最前線の情報発信を通じて、同窓生の方々のお役にたてるよう、頑張ります。最後になりましたが、2018年が皆さま方にとって最良の1年になりますよう、お祈りいたします。(島)